

MTI小型衛星による 大気圏・宇宙圏観測 ワークショップ

Workshop on Upper Atmosphere and Space Research by MTI Observation Satellite

●プログラム

- 11:00-11:20 衛星計画の概要とこれまでの経緯：齊藤昭則（京都大）
1. 衛星搭載機器について
- 11:20-11:45 極端紫外撮像装置 EUVI：村上 豪、吉川一朗（東京大）
- 11:45-12:10 遠紫外撮像装置 FUVI：田口 真（極地研）
- 12:10-13:10 昼休み
- 13:10-13:35 可視撮像装置 VISI：坂野井 健（東北大）
- 13:35-14:00 衛星搭載 GPS 受信機：青山雄一（NICT）
2. 科学的課題について
- 14:00-14:25 MTI 衛星：中間圏重力波の観測：中村卓司（京都大）
- 14:25-14:50 MTI 小型衛星に期待する電離圏サイエンス：大塚雄一（名古屋大）
- 14:50-15:15 MTI 衛星観測による熱圏研究の展開：藤原 均（東北大）
- 15:15-15:30 休憩
3. 今後の理学的・工学的な人工衛星の利用について
- 15:30-15:55 MSAS 概要と電離層補正：星野尾 一明（電子航法研）
- 15:55-16:20 ジオスペース探査衛星 ERG の推進状況と、
小型衛星を取り巻く日本の現状について：塩川和夫（名古屋大）
- 16:20-16:30 コメント：北海道レーダーの現状：西谷 望（名古屋大）
- 16:30-16:40 コメント：SELENE / UPI：山崎 敦（東北大）
- 16:40-17:00 総合討論

平成 18 年 2 月 17 日 (金) 11 時 ~ 17 時
国立極地研究所 研究棟 2 階講義室

主催：国立極地研究所・京都大学生存圏研究所